

ワークライフバランスを考えるメモ (2007.10.18)

|  | ワークライフバランスのイメージ |            | ワークライフバランスの実現に向けて                                   |   |   | 数値目標例<br>赤字は、提案によるもの                           |                   |
|--|-----------------|------------|---|---|---|--|-------------------|
|  |                 |            | 個人  | 企業/産業構造   | 社会/政府・地方自治体   |  |                   |
| ワークライフバランスの実現<br><br>「働き」と「暮らし」のバランスのとれた多様なライフスタイルの実現と成熟した社会人の育成 | いきいきと働き         | 多様な働き方、働き口 | 所得と勤務の柔軟性   | 所得と勤務の柔軟性<br>テレワーカー、短時間労働<br>女性、高齢者の再就職                                   | 多様な働き方の推進   | テレワーカー比率<br>出産女性の継続就業率                         |                   |
|  |                 |            | 就業機会とマッチング<br>キャリアアップできる転職<br>NPO、起業<br>再チャレンジ、事業承継 | トライアル雇用、インターンシップ<br>中途採用機会の拡大   | 中小企業への支援<br>職能や起業の教育<br>キャリアアップの機会と教育<br>自立社会へ。NPO、起業支援<br>個人保障の廃止、事業承継税制 | 就業率<br>フリーターの人数<br>NPO、起業数<br>倒産、廃業数           |                   |
|  |                 |            | 健康と余暇の確保  | メリハリのある就業<br>フィジカル/メンタルヘルスケア  | 長時間労働の抑止、休日<br>職場環境   | 職住近接の推進  | 過労働時間企業数<br>有給取得率 |
|  |                 |            | 生涯設計  | スキルアップ  | 中途半端な成果主義、年功序列の見直し<br>正社員/非正社員の見直し  | 公平な社会保障制度                                      | 年金が受けられる年齢        |
|  |                 |            | やりがい追求  | 社会貢献  | 利益至上主義の見直し<br>高質化。妥当な待遇と報酬。   | 価値観の多様化を受け入れ                                   |                   |
|  | ゆたかに暮す          | 多様なライフスタイル | 生活の質、多様性  | 所得と勤務の柔軟性<br>所得と時間の選択   | アフター5、休日の充実   | 余暇時間と過ごし方<br>(旅行、観劇、スポーツ)                      |                   |
|  |                 | ゆたかな家庭生活   | 子育て、介護負担の軽減<br>女性の育児、家事負担軽減<br>社会進出促進<br>住宅         | 所得と勤務の柔軟性<br>女性の雇用促進  | 生活コストの低減、<br>コミュニティの支援<br>子育て支援<br>税・財政支援                                 | 初婚年齢、出生率<br>子育てサービス利用率<br>男性の家事時間。<br>所得。持ち家率。 |                   |
|  |                 | 社会参加       | 自立型社会へ  | 地域/社会貢献、キャリア形成  | コミュニティの再生<br>NPO、商店街・地域の活性化   | 社会活動の時間  |                   |
|  | 社会ニーズ<br>(環境整備) |            |   | 大量生産から高付加価値型へ<br>(生産性UP)  | グローバル化対応  |  |                   |
|  |                 |            | 出生率のUP<br>若者の就業率のUP                                 | 人材、労働力の確保<br>(女性、高齢者の参加)  | 急速な高齢化への対応<br>急速な高齢化対応は、個人<br>や企業だけでは解決できない<br>(特に年金や社会保障)                |  |                   |
|  |                 |            | 商店街、地域の活性化<br>地域循環経済、地域マネー<br>内需拡大                  | 地方の過疎化対応<br>生活・文化・観光などの特区<br>中負担、自立型社会へ<br>高齢者は、所得確保の仕事から<br>生き甲斐追及や社会貢献へ |   |  |                   |